

日本発達心理学会・「発達障害」分科会

代表者 長崎 勤

事務局長 板倉達哉(今年度より) itakura-t@hotmail.co.jp

平成 24 年度の活動報告

1)年間テーマ：発達支援のユニバーサルデザイン

2)総会

●日時：2012年3月9日（金）（大会1日目）17時45分—18時30分

●場所：名古屋国際会議場 4号館3階 437室

●議題：2011年度活動報告、2012年度活動計画、決算・予算案、発達障害分科会20周年記念

韓国夏合宿

●総会終了後、名古屋駅周辺で懇親会。

3)自主シンポジウム

平成23年度 日本発達心理学会第23回大会シンポジウム

会期：2012年3月10日（土）

主催：東海エリア連合

会場：名古屋国際会議場

テーマ：社会性と運動発達との機能連関～対人的運動調整に着目して～

話題提供者

中村晋（筑波大学附属大塚特別支援学校）

澤江幸則（筑波大学体育系）

本郷一夫（東北大学大学院教育学研究科）

指定討論者

七木田敦（広島大学大学院教育学研究科）

長崎 勤（筑波大学人間系）

司会

飯島典子（東北大学大学院教育学研究科）

(2)「発達障害分科会発足20周年記念国際セミナー」

テーマ：「発達障害への新たな支援の可能性を求めて」～発達の支援の国際的動向と今後の課題～日時：2012年8月31日（金）～9月3日（月）（3泊4日）

場所：大韓民国 大邱（デグ）大学

Daegu University Jillyang, Gyeongsan, Gyeongbuk, Korea

共催：日本発達心理学会「発達障害」分科会・

<スケジュール>

■1日目：8月31日（金）（場所：プサン市内のホテル）

16:30 : 集合 (集合場所 : プサン金海国際空港)

17:00-18:30 : ホテルへ移動

18:30-20:00 : 夕食

20:00-21:30 : セッション 1 「発達障害分科会の 20 年を語る」長崎 勤 (筑波大学) ・秦野悦子 (白百合女子大学)

21 : 30 : 解散 (ホテル泊)

■2 日目 : 9 月 1 日 (土) (場所 : テグ大学)

07 : 30-09 : 00 : 朝食をすませ、ホテルをチェックアウト

09 : 00-10 : 00 : テグ大学へ移動

10 : 00-12 : 00 : セッション 2 「発達障害分科会のこれからの 20 年を語る」金谷京子 (聖学院大学) ・高橋千枝 (鳥取大学) ・西本絹子 (明星大学)

12:00-13:00 : 昼食

13:00-13:20 韓国リハビリ学会会長・日本発達心理学会発達障害分科会代表挨拶

13:20~13:50 韓国発表 1. ジョン ミヨン, チョイ ウンヨン, ゴウン マリア(大邱大学)  
“障害児童とその家族の回復力の促進に関する研究—美術療法を用いた事例研究—”

14:00~14:30 日本発表 1. 板倉達哉・上村 誠也・田尻永里香・丁 ミンヨン・西内裕二・長崎 勤(筑波大学大学院 人間総合科学研究科・教育研究科)  
“「SCERTS モデル」についての概要”

14:30~15:00 韓国発表 2. キム メンオン (ウリハンピ障害専担保育園 園長)  
“発達障害児の移行期における教育計画と実践”

15:00~15:30 日本発表 2. 上村 誠也・板倉達哉・田尻永里香・丁 ミンヨン・西内裕二・長崎 勤(筑波大学大学院 人間総合科学研究科・教育研究科)  
“SCERTS モデルによる 自閉症児への包括的支援 —「ボール遊び」ルーティンによる指導を通して—”

15 : 30-17 : 30 : セッション 5 : 20 周年記念講演 小枝達也 (鳥取大学)  
「発達性読み書き障害の発見と指導法について」

17 : 30-18 : 00 : 合宿総括 長崎 勤 (筑波大学)

18 : 00-18 : 30 : 懇親会会場へ移動

18 : 30-20 : 30 : 懇親会

20 : 30-21 : 30 : ホテルへ移動

■3 日目 : 9 月 2 日 (日)

07 : 30-09 : 00 : 朝食をすませ、ホテルをチェックアウト (9 月 2 日帰国コースの場合)  
プサン金海空港へ移動、帰国の途へ

【コーディネーター】 高橋千枝・ジョンミンヨン・長崎 勤

(2) 12 月例会

【日時】 : 2012 年 12 月 8 日(土)14 時-17 時

【場所】 : 筑波大学・東京キャンパス文京校舎 1 階 119 教室

【臨床発達心理士・資格更新研修会】：3時間 0.5ポイント

【参加費】：「発達障害」分科会会員＝無料、分科会非会員＝1000円(どなたでも参加できます)

【テーマ】：幼児期・児童期におけるナラティブの発達とその支援

【企画者】：長崎 勤(筑波大学)・秦野悦子(白百合女子大学)・田尻永里香(筑波大学人間総合科学研究科)(「発達障害」分科会発足 20周年記念出版(金子書房)・第2巻「言語力支援のユニバーサルデザイン」企画)

【司会者】：秦野悦子

【話題提供1】 幼児期におけるナラティブの発達と支援：仲野真史(東京学芸大学附属特別支援学校/筑波大学人間総合科学研究科)

【話題提供2】 児童期におけるナラティブの発達と支援：田尻永里香(筑波大学人間総合科学研究科)

【指定討論】：柄田 毅(文教学院大学人間学部児童発達学科)(予定)

6)日本発達心理学会「発達障害」分科会 20周年記念出版

「シリーズ：発達支援のユニバーサルデザイン」(全3巻)(金子書房刊)

第1巻 『社会性発達支援のユニバーサルデザイン』

第2巻 『言語力支援のユニバーサルデザイン』

第3巻 『身体に関連した発達支援におけるユニバーサルデザイン』

\*20周年(2012年)記念出版編集委員会

委員長：長崎勤、

副編集長：澤江幸則

編集委員：森、高橋(千)、秦野、鈴木、柄田、川田

7) ニュースレター

67号のみ全員に郵送、以降はメール版と郵送

①12年 5月号：(第75号)総会、7月例会案内 \*年会費振込用紙、

② 7月号：(第76号：メール)サマーワークショップ案内

③ 10月号：(第77号：メール)12月例会案内

④2013年 3月号：(第78号)総会案内、例会報告、次年度へ向けて

9) 分科会ホームページの運営